

2019年7月7日

福音書からのメッセージ

その後、主はほかに七十二人を任命し、御自分が行くつもりすべての町や村に二人ずつ先に遣わされた。

(ルカによる福音書 10 章 1 節)

今日の聖書には、72人がイエス様から任命され、派遣されたという記述がありました。聖書にはこうあります。「ご自分が行くつもりすべての町や村に、二人ずつ先に遣わされた」と。ご自分で行くはずの場所に、イエス様はあえて任命した人を遣わされたというわけです。イエス様が直接行った方が、人々は喜んだかもしれません。しかしイエス様はそうではなく、任命した一人一人を用い、人々の間に遣わし、自分がおこなうはずのことを任せられたのです。

72人は喜んで帰って来ました。きっとイエス様に「行け！」と言われたときには、どうなることかと不安でいっぱいだったことでしょう。しかし目の前で、驚くべきことが起こっていったのです。自分を通してイエス様が働かれた。その実感を強く持ったから、喜びがあふれたのだと思います。

わたしは牧師として働きだしてまだ6年半ですが、何度も驚くべき出来事を見せつけられてきました。お祈りの中で不思議な力を感じたこと、目の前の人々の心が神さまに変えられたこと、小さな集まりの中にイエス様が共にいて下さると心から思えたこと。そのような一つ一つの出来事がわたしをさらに外へと突き動かし、「行け！」という言葉に促されて歩む原動力となっているのです。そしてまた、驚くべきことがわたしを通してなされていく。

わたしは思います。これがイエス様の働きでなくて、何なのだろうか。わたしが計画して、実行したのではない。イエス様がわたしを通して様々な人たちに働きか



け、救いに導かれたのです。わたしはただ、イエス様に遣わされ、なすべきことをしたまでです。わたしはきっと、72人の一人として、遣わされているでしょう。一人でも多くの人と神さまから

いただいた恵みに感謝し、神さまの愛を分かち合うようにと。でもそれは、わたしだけではない。イエス様を信じ、イエス様を受け入れ、イエス様と共に歩むすべての人に、求められていることです。

わたしたちが周りを見渡したときに、孤独な人や病気のために苦しんでいる人、不安を覚え悲しんでいる人はいないでしょうか。イエス様は72人を町や村に遣わしたように、今、わたしたちを、この生活の場に遣わされています。神さまの恵みに感謝し、神さまの愛を伝えていく器となるように、それが神さまの願いです。わたしたちには大きな力などありません。でも共に働いてくださるイエス様がおられるから、わたしたちは隣にいる人に「大丈夫！」と伝えることができるのです。必ずイエス様が来てくださるから大丈夫。その言葉を待っている人はたくさんいるはずですよ。

神さまがわたしたち一人一人を用いて下さいますように、お祈りしていきましょう。

桃山基督教会

〒612-8039

京都市伏見区御香宮門前町 184

TEL/Fax 075-611-2790

メール momoyama.kyoto@nssk.org

<教会ホームページ>

<http://momoyama.hannari.com/>